

Hiroshima University Alumni Association

広島大学校友会・だより

平成20年  
第3号

# Phoenix Club

## ひとつの、 ふるさと。

第2回 広島大学ホームカミングデー  
2008年11月1日(土)開催



### 「広大」という土壌

東広島キャンパスは初めて  
という方も多かったようです。

卒業生、在学生、保護者、教職員など  
広島大学に関わるすべての人をまとめる組  
織として「広島大学校友会」が発足して間  
もなく2年。ホームカミングデーは、そう  
したすべての方々に、広島大学キャンパスに  
集っていただくイベントです。キャンパスは  
移転しても、広島大学という土壌は共通。  
歴史を受け継ぐ後輩たちがいる限り、ここ  
も「ふるさと」と思っていたきたい——そ  
の願いをこめての開催です。

第2回の今年は、300人余りの方々が  
エントリーしてくれました。

誘い合わせて参加して下さったグルー  
プやご家族もありましたが、同じ学部、同  
じクラブの同窓生や、わが子の先輩たちと  
出会う話を弾ませた方もあり、東広島キャン  
パスの秋の一日を楽しんでいただけたよう  
です。





**学長挨拶** 歓迎の挨拶の中で、浅原利正学長は、森戸辰男初代学長の言葉を引用して「自由で平和な一つの大学」を強調した。

**オープニング演奏**



合唱団とグリークラブOBによる『自然における神の栄光』。指揮は難波憲二名誉教授。



**野外でのセレモニー&パーティ。日差しの中で「ふるさと」を共感していただけただけでしょうか。**



オープニングを飾ったのは吹奏楽団の『威風堂々』。初めての野外演奏だった。指揮は山本君。



東広島キャンパスの開放的な空気を感じていただけるように、今回は会場を野外に設定。セレモニーとコンサートを中央図書館前の広場で、また、広場に面したマーメイドカフェでティーパーティを開催しました。

**シンポジウム**

幸い、当日は快晴。日差しはまぶしかったものの、吹き渡る風と青空の下に響き渡る音楽で、開放感いっぱいのホームカミングデーとなりました。



**ホームコンサート&ティーパーティ**



吹奏楽団の在校生・卒業生たちがアンサンブルを組んで演奏。



総務室の下田グループリーダーから文学部4年の久保田さんへ、司会をバトンタッチ。

卒業生によるシンポジウムも初めての試み。広島市・福山市で学んだ卒業生にも、「東広島に移転しても、広大はふるさと」と一体感を持っていただくためのアイデアを話し合いました。具体的な意見が出て、参加者からも「パネリストの意見をぜひ、これからの広大に活かして」という声寄せられました。



卒業生と浅原学長によるシンポジウムでは、キャンパスの違いを超えて意識を共有するアイデアが話し合われた。

**大学歌合唱**



「光あり 遠き山なみ……」参加者全員が大学歌を歌う。



毎日放送の藤谷昌平さんは総合科学部の1期生。放送記者の視点から大学の広報にアドバイス。

永嶋恵美さんはミステリー小説家。文学部西洋哲学科の情報誌を例に情報の共有を話した。

愛媛県佐礼谷小学校教諭の岡崎敬之さん。「校長先生が教育学部の先輩」と、人のつながりの大切さを強調。



現役生に代わって剣道部の現状を話してくれたのは村井慎治さん(政経学部卒)。パネリストの藤谷さんと剣道部OBのコパを開いたとか。



浅原学長も広大卒業生。パネリストの提言に熱心に耳を傾けた。

コーディネーターは松水征夫キャリアセンター長。政経学部卒業生。



午後のホームコンサート。ギタークラブによる演奏。卒業生も参加して、見事なテクニックを披露してくれた。



グリークラブOBといっしょに「ふるさと」の合唱。



文書館による写真/パネル展示『広島大学の歴史展』



演奏が終わった吹奏楽団の在校生もパーティに参加。



ジャズ研究会の演奏。明るい日差しの中で聴くジャズも、いいもの。



政経学部のサークル「法社会学研究会」は誘い合わせて参加。「大学歌が歌いたくて高知から来た」という方も。



国立大学として唯一、全日本大学駅伝に出場した陸上競技部への応援をアピールする平山キャプテンと光延くん。



半世紀前の艇庫建設の写真。OBの河東君も広大ヨット部の歴史の長さに圧倒された様子。



大学祭も同時開催。東千田の大学祭パレードの写真に、今年の実行委員、上野君もビックリ。



全日本学生ダートトライアル選手権大会での優勝を報告する自動車部の西川キャプテン。

株式会社幻冬舎 執行役員 編集本部第一編集局局長

志儀 保博さん (1987年 文学部卒業)

### 学者の凄みを見せてくれた先生。一緒に仕事をしてみたかった。

#### 4年間、しっかりと働いた。

ぼくが受験した頃は、共通二次の点数で何点だったかの大学とたいたい決まっていた。だから、とくに広大志望だったわけでもないんですよ。でも、入学してからは非常に楽しかった。1年の時、サークルで吹奏楽やって、2年、3年はジャズ研。わりとしっかりと活動したし、アルバイトにも精を出した。本もかなり読んだ。寝る間がないうらい忙しかった。就職するときに「これから働くのかあ」と思ったけど、ああ、オレ、この4年間も、しっかりと働いてきたなあって(笑)。

#### 3年生だけは戻りたくない。

大学ではずいぶん勉強もさせられました。特に3年時の演習はキツかった。半期に1回、2時間の発表があって、B4で60〜100ページにもなるレジュメを二人で用意しなくちゃいけない。そんな科目がいくつもあった。あの3年生だけは戻りたくない(笑)。最も厳しかったのは角筆研究の権威・小林芳規先生の国語学の演習。発表後かなり厳しく叱られました。でも、今、小林先生と猛烈に本の仕事をしてみたい。一流の学者の凄みに生で触れた貴重な体験です。

#### 就職試験、落ちまくり。

作家になりたいと在学中に小説の新人賞に応募しました。でも一次選考にも引っかけから自信がなくなりました。進学しようか就職すべきか迷ったが、4年生の時、本田靖晴の『疵』と『ニューヨークの日本人』を読み「オレは新聞記者にならなきゃいかん」と突如、燃えた。で、新聞社をたくさん受けた。

当時からマスコミ就職セミナーはあって、東京の学生は当たり前のように受講してましたが、ぼくは存在すら知らなかった。もう落ちまくった。でも受けては落ちて、少しずつ学習したんですよ。サブで出版社への就職も考えていて、徳間書店への入社が決まりました。12月25日だった。それから大慌てで卒論を書いた(笑)。

#### 飽きない仕事。

大学時代に読んでいた本は文学書ばかり。それ以外のジャンルの本があることすら知りませんでした。出版社に入って初めて、世の中にダイエツトの本があることを知った(笑)。女性の痩せたい気持ちはこうなのか、と。面白かった。そういうことを知るのも考えるのも。



転職は、編集部から宣伝部への異動が理由。最初は「電車の中吊り広告なんてオレに作れるだろうか」と思ったけど3カ月やったら慣れた。そしたら、もう耐えられなかった。この仕事はもういい、オレは本を作りたいと思った。94年、幻冬舎創立の頃で、新聞の求人を見て応募した。当初、給料は3分の2に減りました。幻冬舎は何をやってもいい、何でもやれ、という会社。飽きない、それがいいところだけど、すぐに

クビになる。(「エーッ」という声)売れる本を出せない、辞めざるを得なくなるんです。そういう意味では厳しいですね。

#### 面接官としてアドバイス。

会社の採用試験で面接官をやります。学生は「専門を活かしたい」「個性を発揮したい」とよく言うけど、あれはやめたほうがいい。ぼくも就職時代、ある出版社の面接試験で「何をやりたいか」と訊かれ、その会社の文芸誌の名をあげたら「そんなヤツは掃いて捨てるほどいるんだ」と言われ、それからもう質問もされなかった。(再び「エーッ」)。ぼくは、言っちゃいけないことを言ったんです。

企業は、「どんな仕事でもやる」人が欲しい。きちんと勉強することは大切だけど、それが実社会でどれだけ通用するかを考えると、活きる専門なんて、ほとんどありません。

■志儀保博(しぎやひろゆき)さんプロフィール  
京都市生まれ。1987年広島大学文学部国語学文学専攻卒業。徳間書店を経て創立直後の幻冬舎へ。小林よしのり『戦争論』、田中森『反転』、久坂部羊『無痛』等を担当。現在は幻冬舎新書の責任者。



志儀さんは小説家・永嶋恵美さんの「担当編集者」。お二人は広島大学文学部の同期生。ホームカミングデーに参加してくださったとき、インタビューさせていただきました。

#### インタビューの後で

遠坂(経済学部) 「大学時代にやり残したことは」と質問したら「もう十分という感じ」という答えが返ってきました。自分は……と、考えさせられました。

森(教育学部) 出版関係を志望しているのですが、いろいろ役に立つお話が聞きました。「最近の学生には「おたく」がない」というひと言が、とても印象に残りました。

磯部(文学部) 「新社会人に個性は無用」と志儀さんは言われました。まずは素直な新人であれというのでしょうか。ただ、それはイコール無個性な人間ではないようです。大きな仕事に携わっておられる方のお話はとても興味深かったです。

## 同窓会大会

### 同窓会 訪問 第2回



#### 卒業生だけの全学部同窓会

ホームカミングデーが行われた日の夜、広島市内のANAクラウンプラザホテルでも懐かしい再会が多くありました。

同窓会大会は、広島大学の学部の垣根を越えた全学部の同窓会です。「卒業生が現役学生を支援する」という構想で、平成5年に体育会同窓会を中心として創設されたものです。学生から募集した優秀な企画に助成金を送り、学術・文化・スポーツ等の活動をバックアップする「ドリームチャレンジ賞」を設けるなど、折に触れ、後輩たちを支援しています。

#### 支えてもらった経験を後輩に――巡る感謝の気持ち

この日、集まったのは約300人。始まりの大学歌斉唱では、手にした歌詞を見ないまま歌われている方も多く、母校への愛着が感じられました。

「次の大会では上位を目指します!」「応援しているから頑張れよ」と、体育会クラブの学生に、OBからエールが送られたり、「あの頃は、自動車部は全国一位になった」と昔話に花が咲いたり、あちこちでにぎやかな笑い声が聞こえていました。

単に懇親を深めるものではなく、「自分たちが先輩にしてもらったことを、今度は後輩に――」という、感謝の気持ちを受け継がれていました。

#### 「卒業生名簿整理へのご協力をお願い」

広島大学校友会では、校友間の交流事業の一環として卒業生名簿整理を行っています。卒業後の住所や名前などの情報について、専用フォーム「卒業生情報登録シート」またはメール等でご一報ください。

●卒業生情報登録シートウェブ版

URL: <http://phoenix.hirodai.jp/koyukai/>  
E-mail: [sec@phoenix.hirodai.jp](mailto:sec@phoenix.hirodai.jp)

(お名前(旧姓も)、ご住所、電話番号、卒業年、卒業学部、Eメールアドレス等)

※ご提出いただいた個人情報は、校友会及び同窓会の活動(校友間の交流支援、学生への就職支援)のみに使用させていただき、個人情報保護法を遵守して厳正に管理いたします。

# 広島大学の6ヵ月間が一日でわかる

## PHOENIX通信



大学祭

### 「産学官連携戦略展開事業」の実施機関に選定されました

大学などの知的財産戦略の展開を支援するために文部科学省が募集した「産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)」で、国際的な産学官連携活動推進の実施機関に選定されました。今後、基本特許の国際的な権利取得の促進、海外企業からの共同研究・受託研究の拡大、国際的な知的財産人材の育成・確保など、国際的な産学官連携体制の強化に向けて、事業計画を推進していきます。

### 医学部医学科推薦入学「ふるさと枠」の導入

広島大学は、平成21年度入学から推薦入学「ふるさと枠」を導入することを決定しました。国の「緊急医師確保対策」に基づき、広島県と連携して、将来広島県の医療を担う人材を育てようというものです。定員は5名。全学生に広島県が奨学金を貸付することになります。

平成21年度の「ふるさと枠」は募集・面接とも終了。大学入試センターの成績も利用して、2月に合格者を発表する予定です。

### 三浦道子教授が服部報公会「報公賞」を受賞

先端物質科学研究科三浦道子教授は、国際標準の回路設計用トランジスタモデルに採用された「HiSIM-LDMOS」の開発者。その「デバイス物理の解明とこのモデル化」が評価され、10月9日、服部報公会「報公賞」を受賞しました。

(財)服部報公会は、セイコーの創業者である服部金太郎氏が昭和5年に私財を投じて設立した公益法人で、毎年、工学の進歩に貢献する研究を対象に「報公賞」を贈呈しています。

### 広島大学開発の高性能センサーを搭載したGLAST衛星打ち上げ

世界6カ国が参加するガンマ線天文衛星「GLAST」がNASA(アメリカ航空宇宙局)によって打ち上げられました。衛星に搭載されたガンマ望遠鏡には、広島大学が中心となって開発した高性能ガンマ線センサーが取り付けられており、ブラックホールや中性子星、超新星など、宇宙の未知の領域に関する情報収集を行う予定です。プロジェクトの日本グループの代表

は、宇宙科学センターの大杉節教授がつとめています。



### 小林亮教授が「イグ・ノーベル賞」を受賞

10月2日、理学研究科小林亮教授が、「人を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に贈られる本年度「イグ・ノーベル賞」の認知科学賞を北海道大学の中垣俊之准教授らと共同受賞しました。脳も神経もない単細胞生物である「粘菌」が迷路を解き、しかも最短経路を求めることができたことと実験的に証明したことが評価されたもの。授賞式はハーバード大学のサンダーズ・シアターで行われました。

### 柔道部(女子)全日本学生・体重別で活躍

10月11日から12日にかけて日本武道館で開催された「平成20年度全日本学生柔



柔道部(女子)の森本奈々美さん

道体重別選手権大会」で柔道部(女子)がめざましい成績をあげました。48kg級で藤井あやかさん(教育学部1年)が第3位、52kg級で森本奈々美さん(同3年)が第2位、57kg級で熊登御堂未来さん(同3年)がベスト8、63kg級で馬場あゆみさん(同4年)がベスト8。7階級中4階級で入賞を果たしました。

また、森本さんは、ナショナルチーム入りを果たし、12月12～14日東京体育館で行われる「嘉納治五郎杯東京国際柔道大会2008ワールドグランプリ」の日本代表に選出されました。

### バレー部(女子)部員が全日本大学選抜メンバーに選出

野口彩佳さん(教育学部3年)が、「第6回アジア東部地区バレーボール選手権大会」の全日本大学選抜メンバーとして選出されました。試合は、5月5日からモンゴルで開催され、野口さんが出場した女子チームは見事優勝を飾りました。野口さんは「全日本バレーボール学生選抜東西対抗戦2008」でも西軍のレシーバーに選ばれています。

**図書館ホームページ**  
図書館をうまく利用するかどうかわかると、大学生活は大きく変わってきます。まず図書館ホームページ

**まずは図書館へ**  
入学したらまず図書館へ。学生の皆さんだけでなく、父兄の方もきっと何かが見つかりますよ。

**5つの図書館**  
広大には全部で5つの図書館があります。東広島キャンパスには中央図書館、東図書館、西図書館の3館があり、広島市内のキャンパスには、霞図書館と東千田図書館の2館があります。所蔵する資料は各館によって異なりますが、情報を収集、保存、提供する上で、皆さんに奉仕する精神は同じです。

**地域にも開放**  
広大図書館は学生・教職員だけでなく一般の方々にも開放されており、資料の閲覧・貸出や情報の提供をしています。一般の利用者のための講習会や催しもしばしば開催されており、また地域の方の発表の場としても利用され、年に十数回のさまざまな展示会などが行われ、学内外の多くの参加者を集めています。



**問い合わせ、質問歓迎**  
自分で調べて分からないことは、とにかく図書館に聞いてみてください。ふさわしい資料を紹介することもありますし、専門の部署、機関をお教えすることもあります。調べ方のアドバイスもできます。調べることに迷ったときは、図書館にいろいろな情報が集まっていますので、とりあえず聞いてみることも。専門の窓口、ホームページからでも、あるいは近くの図書館の職員に気軽に相談してください。

**キャンパス ZOOM**  
**図書館**  
広大生と地域の「知識の泉」  
さまざまな情報に、さまざまな形でアクセスするのをサポートします  
それが中央図書館。今回は、広大の図書館をご紹介します。

第2回ホームカミングデーのステージバックとなった建物、それが中央図書館。今回は、広大の図書館をご紹介します。

をしばしば見てください。どんな資料があり、どう利用するかが分かり、さらに講習会やイベントのお知らせなどもいち早く知ることができます。

<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>



広島大学校友会「たより」  
**Phoenix Club**  
『Phoenix Club』Vol.3  
平成20(2008)年12月10日発行  
(年2回発行予定)  
編集・発行:広島大学校友会事務局  
〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号  
TEL(082)424-6015 FAX(082)424-6020  
月曜日から金曜日8:30~17:00(祝日を除く)  
Mail ● sec@phoenix.hirodai.jp  
HP ● <http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>

**編集後記**  
◆第2回ホームカミングデーは野外での開催となりました。東広島キャンパスの空の広さや風の気持ちよさを感じていただこうと思ったのですが、天気予報を気にしながらハラハラ……。でも、当日は抜けるような青空!誰の行いが良かったのでしょうか?  
◆卒業生、保護者の皆さんがたくさん来ていただきました。遠くから参加して下さった方もおられます。シンポジウムのパネリストも、東京や大阪、愛媛から来ていただきました。ありがとうございました。もし、不行き届きがありましたら、どうぞお許しください。  
◆参加者の方々から多くのご意見・ご要望をいただきました。それらを反映しながら、第3回は、さらに充実したホームカミングデーにしたいと思います。  
◆来年は創立60周年記念のイベントも同時開催の予定です。ぜひ、お越しください。

**校友会事務局から**  
**創立60周年記念事業について**  
来年は広島大学創立60周年を迎えます。法人化後の大学大競争時代にあって、大学総合力の強化に向けスタートするため、校友の強いコミュニケーションをはぐくむ交流に主眼を置いて、記念事業を実施する予定です(平成21年11月7日実施予定)。広島大学にゆかりのある方々により多くご参加いただき、交流を深めていただくよう、今回のホームカミングデーをさらに充実させた形で計画したいと考えております。内容等が明らかになりましたら、校友会ホームページ等で随時お知らせいたします。

**卒業生の皆様へ**  
創立60周年記念事業第3回ホームカミングデーにあわせて、皆様が所属している学部・学科・ゼミやクラブ等の同窓会を開きませんか? 各同窓会情報や開催日日程等のお知らせは、校友会ホームページに掲載可能ですので、校友会事務局までご連絡ください。

**登録の基準**  
○10名以上で組織し、そのうち最低1名は校友会会員(正会員)が在籍すること。  
○会長等の責任者が明確であること。  
○非営利団体であること。  
登録は無料です。詳しくは、校友会ホームページをご覧ください。

**募集について(ご案内)**  
平成20年5月より、校友会登録団体の募集を始めました。校友会の支部(同窓会・後援会等)以外に、同期会、ゼミ・クラス会やクラブ・サークルとそのOB・OG会、地域別・職域別校友会など、団体として登録していただけるグループを募集しています。登録していただくことにより、「校友会だより」や「校友会ホームページ」で、活動内容のPRや集いの募集ができ、メンバーの増加や他の団体との連絡・交流に繋がる機会が増えます!